





半島に眠る巨大シイノキ

なりゅうみさき

成生岬の大ジイ

[京都府舞鶴市成生岬]

根周 11.17m 主幹幹周 8.45m

2010.3.14 撮影

近年、偶然釣人によって発見されたスダジイの巨木。成生岬の先端部近くの入江より登った、標高 35m 地点に立つ。道がないため、渡船による手段しかない。

主幹と根元近くで分岐する側幹 2 本で形成される。側幹の幹周は 2.23m と 2.45m。合計周 13.13m が公表値に近い。主幹は地上 2~2.5m で 6 分岐する。内一本は枯れる。

調査中、下部のくぼみで瓦の破片を発見。形態から比較的新しい神社の瓦のようで、かつて近くに社があった可能性があり、大ジイはご神木であったのかもしれない。

女甕山を背景に立つ大カツラ

めこしきやま

女甕山の大カツラ

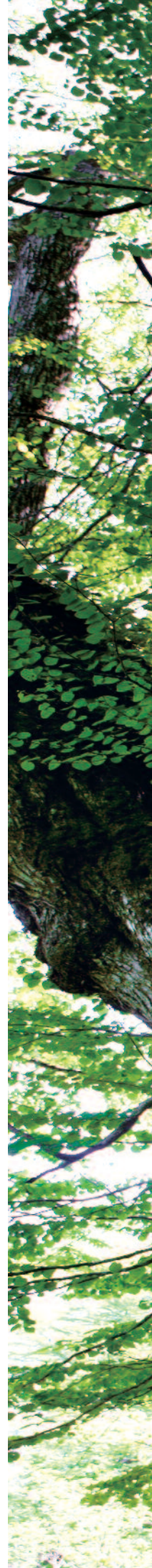
[山形県真室川町女甕山]

幹周 12.1m

2006.11.8 撮影

ロケーションが素晴らしい。背後に見えるのは切立った岩場の女甕山。閑静な深山に立つ大カツラである。

前方から見ると 6m で二分岐する樹形だが、実際は根元で分岐し、途中まで癒着している。背後は大きく崩れ、原型が想像できない。森の巨人たち 100 選にも選ばれている。



日本一の大カツラ

権現山の大カツラ

[山形県最上町権現山] 幹周 19.3m

2010.5.8 撮影

2001年の環境庁調査で日本一になった大カツラ。幹周の公表値は20mであるが、ひこばえを計測しない株周囲は19.3mであった。大カツラのほとんどは幹の集合体で、株立ちになる。これより株の大きなカツラは何本か報告があるが、権現山のカツラは主に二本の幹からなり、数本の細い幹が取り囲む異色の存在だ。下から見て右の幹はコブが多く健在。左の幹の主幹はほぼ枯れ、10mで折れ、ひこばえが生き残っている。

桂

巨大感日本一の大カツラ コモチカツラ

[石川県白山市一ノ瀬]

幹周 17.47m

2009.6.1 撮影

解説 166頁

